

## 指定管理施設

# 光熱費の高騰に支援金



対象となる大規模施設

9月定例議会では、指定管理施設の光熱費高騰支援金の関連予算として4000万円を追加するなど、一般会計の補正予算14億7535万円を可決しました。議会は、指定管理施設の光熱費高騰支援金については、意見をつけることとしました。

**指定管理施設光熱費  
高騰支援金  
4000万円**

**問** 指定管理施設への高騰支援金について対象施設は何箇所か。

**答** 指定管理料を支出している施設が対象で52施設ある。

**問** 小規模な施設でも影響があるのにも関わらず、10万円未満の影響額を対象外とする理由は。

**答** 直ちに管理運営が継続できなくなる状態ではないという考えから対象外としている。

**問** 不平等な取り扱いや感じるがいかがかと感じるが、制度の詳細については、委員の意見を踏まえて検討していきたい。

**答** 「交付にあたっては、指定管理者側からの不公平感が生じないように交付基準を明確化するとともに、早急に交付すること。」と意見をつけて可決しました。

### 審査意見

「交付にあたっては、指定管理者側からの不公平感が生じないように交付基準を明確化するとともに、早急に交付すること。」と意見をつけて可決しました。

## 小・中学校に 防犯カメラ、門扉などの設置



車両進入防止のポール

若柳小学校での、不法侵入を受け、各小・中学校に防犯カメラ、門扉などの設置工事を追加しました。

幼稚園防犯カメラ  
門扉等設置工事  
560万円

小学校防犯カメラ  
門扉等設置工事  
2500万円

中学校防犯カメラ  
門扉等設置工事  
1500万円

**放課後児童クラブ  
1億3000万円返還**

国では、放課後児童クラブを運営するための財源である「子ども・子育て支援交付金」を会計検査院が調査した結果「交付金が過大に交付されている自治体が相当ある」との指摘を受けた。市では、確認した結果、交付金が始まった平成28年度から令和4年度までで1億3000万円ほどが返還となる。交付金制度の内容について、一部理解不足があったことが主な要因である。

## 人事

**人権擁護委員  
6人を同意**

人権擁護委員の任期が、令和5年12月31日で満了になります。

議会は、候補者の推薦に意見を求められ、次の6人に同意しました。(敬称略)

川田 聡 (築館)

石川 恵久子 (栗駒)

狩野 孝信 (築館)

栗石 孝志 (築館)

山田 祐子 (瀬峰)

工藤 勝也 (金成)

### 人権擁護委員とは

法に基づいて人権相談を受けたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動をしています。

# 条例

9月定例議会で可決した条例について主な内容をお知らせします。

**栗原市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例**

コンビニエンスストアなどの多機能端末機による印鑑登録証明書の交付について、個人番号カードに加え、移動端末整備（スマートフォン）による交付を可能とする改正を行いました。

**栗原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例**

職員の体制内容について、利用者が20人未満となる時間帯及び曜日において、市が定める利用者の安全確保策を講じている場合には、放課後児童支援員の数を1人とすることを可能とする特例を追加しました。

**栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例**

若柳放課後児童クラブの位置を現若柳小学校から旧若柳幼稚園に変更することに伴い条例改正を行いました。



## デジタル化でさらなる市民サービスの向上へ

### 総務常任委員会

7月31日



委員会は職員の調査を求める

市のデジタル化について調査しました。

**調査の結果**

令和3年度からRPA<sup>\*1</sup>やAI-OCR<sup>\*2</sup>、AI議事録システムを活用し、業務の効率化を図り、市民サービスの向上と職員の負担軽減を図っています。また、書かない、待たない、行かない窓口により市民の利便性向上を図ろうとしています。が、使える人と、使えない人との差が生じないように支援体制にするべきです。

さらに、市のデジタル化に向け、職員の意識を高めるよう努めるべきです。

**さらなる利便性の確保を**

地域公共交通について調査しました。

**調査の結果**

現在の地域公共交通は広域路線、市内連携路線、地域内路線（乗合デマンド交通）の3本柱で運営しているものの、乗合デマンド交通の利用者の低迷および地区外運行や休日運行の要望など課題を抱えています。一方で、乗合デマンド交通の地区外運行については、代替案としてタクシー利用助成事業を市内4地区で試験的に行い、今後は全地域で展開しようと検討も進められています。

今後も地域公共交通を維持するため、事業費の抑制と適正な運賃の見直しも考えながら、これからも子どもたちや高齢者といった交通弱者にも配慮した運行形態のあり方や、さらなる利便性に努めるべきです。

**ひとくちメモ**

※1

**RPA**

RPAとは、パソコンを使った定型作業をソフトウェアのロボットに代行させる技術のことを言います。

※2

**AI-OCR**

手書きの申請書やアンケートなどをスキャナーで読み取り、書かれた文字を高精度でデータ化させる技術のことを言います。

※3

**AI議事録システム**

AI（人工知能）が音声を読み込み、自動でテキスト化をして、議事録を効率よく作成や編集をすることができる技術のことを言います。



# 農家所得の確保に向けた 農業政策の推進を

## 産業建設常任委員会

8月2日



キャンプ場整備予定地を調査

令和5年産米の作付状況について調査しました。

**調査の結果**  
令和5年4月末現在における生産の目安に対する計画生産数量は、面積換算で683ヘクタールの作付超過でありました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の解除などにより外食向けの需要は回復しているものの、人口減少などの影響により、さらなる米需要の減少が予想されています。

このことから、農家の所得確保のため消費者ニーズに対応した的確な需給調整を実施するとともに、安定的かつ継続的な経営を可能とする農業政策の推進を求めます。

### 魅力的なキャンプ場整備に向けて

キャンプ場について調査しました。

#### 調査の結果

栗駒山の自然や山脈ハウスなど周囲の観光施設を最大限に活用するとともに、周辺観光地を回遊する滞在型観光につなげることも可能であることから、栗駒耕英地区に整備を計画し、令和4年度には敷地の測量を完了しています。

今後、民間事業者のノウハウも積極的に活用し、関係団体や観光事業者、栗駒耕英地区の人たちとの協議を重ねてキャンプ場の整備に取り組むこととしていますが、しっかりと事業の採算性や継続性を分析し、うえで、魅力的なキャンプ場の整備に努めるべきです。

# 歴史的遺産を 後世に継承すべき

## 文教民生常任委員会

8月9日



市内の埋蔵文化財を調査

埋蔵文化財について調査しました。

#### 調査の結果

一迫埋蔵文化財センターでは、定期的に発掘調査展を開催し、貴重な遺跡や出土品を広く公開しています。是非、学校教育の現場で活用し、小・中学生に地域の魅力を発見する機会を提供するとともに、歴史的遺産を適切に保護しながら、後世に継承できるよう努めてほしいと考えます。

### 早急に民俗資料館の整備に着手を

民俗資料館について調査しました。

#### 調査の結果

市内各施設の民俗資料は、旧富野小学校に集約され保管してあります。施設の改修を最小限に抑える計画で、現在保管されている資料に関しては、専門家の意見や聴くなどにより、早急に民俗資料館の整備に着手するよう努めてほしいと考えます。

### 学校解体の場合は十分な協議を

閉校した小・中学校所蔵品について調査しました。

#### 調査の結果

市内では学校再編が行われ現在、小学校11校、中学校6校となり、金成小中学校は、義務教育学校として設置されています。

閉校した小・中学校で、仮に解体が決定された場合は、学校関係者やPTAの人々と所蔵品を処分するものや移管するものなど、その取扱いを十分に協議して進めてほしいと考えます。